

ビオトープフォーラム in 東京2022

－ 子どもの遊びとビオトープ－

実施報告書

日時：2022（令和4）年6月17日（金） 13：00～16：40

場所：全水道会館 4階 大会議室（〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-1）

主催：特定非営利活動法人日本ビオトープ協会 共催：自然環境復元学会

後援：環境省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、日本造園学会、日本造園建設業協会、一造会、IGES 国際生態学センター〈順不同〉

◆フォーラム参加者 計 60名

官庁、共催・後援関係 学生・学校関係者	1 5	名 名	環境団体関係 一般	7 17	名 名	協会員・BA※ ※ビオトープアドバイザー	30	名
------------------------	--------	--------	--------------	---------	--------	-------------------------	----	---

◇総括

本年度のフォーラムのテーマは、「子どもの遊びとビオトープ」といたしました。全水道会館を会場に、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、予定通り開催することができました。

フォーラムの司会進行は藤井信良総務副委員長が務め、開会にあたり、櫻井淳会長よりご挨拶をいたしました。フォーラムが、諸団体、他大勢の皆様のご協力により開催できること、また、ご講演いただきます当協会顧問・新潟大学名誉教授・NPO 法人新潟水辺の会顧問の大熊孝先生、東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 教授の町田怜子先生に謝意を表しました。今後も地域の自然環境の保全・復元・維持管理の現場で活躍する技術者、ビオトープアドバイザー養成に力を入れると共に、全国 860 名を超えるビオトープアドバイザーネットワークの充実を図り、日頃の研究に加え現場実践を通じて、SDGs・地球環境の保全に貢献する活動を力強く継続すること、子どもの遊びとビオトープの大切さ等が話され、会員の協力、顧問の先生方のご指導、関係各位のご理解ご支援に感謝の言葉を述べました。

第1部では、「第14回ビオトープ顕彰」表彰式が行われ、ビオトープ顕彰委員長の鈴木邦雄代表顧問からの審査講評と、櫻井会長から表彰状授与が行われました。引き続き事例発表が行われ、「トヨタの森 TOYOTETSU FOREST」「日産バイオパーク西本郷」「学校観察園 ホタルの森」3件のそれぞれの地域性を生かした素晴らしい活動事例が紹介されました。

（発表資料：別紙フォーラムレジュメ資料集に掲載、顕彰講評・受賞紹介：協会WEBにUP、協会誌50号に掲載予定）

第2部は、大熊孝先生より、「新たな『都市の自然観』の形成に向けて～新潟の自然から学んだこと～」と題して基調講演をいただきました。新潟の美しい自然の写真を見せていただき、すばらしい風景に見入りました。日本人・国家の自然観の変遷がよくわかり、かつては「山川草木悉有仏性」という伝統的自然観を持っていて、自然は魂が還れる場所であり、共生し、荒ぶる自然との付き合い方も闘い支配するものではなかった。現在の状況、問題や、現代・未来の子どもたちにつなげる大切な自然・自然観等について、大変考えさせられるお話をいただきました。

続いて、町田怜子先生より、「教育現場と創る環境教育プログラム～都市・里山・農山村の事例から～」と題して特別講演をいただきました。幼児教育における環境教育の重要性についてわかりやすく、具体的に、園庭・東京都、里山・神奈川県、農山村の伝統知・熊本県を活用した環境教育プログラムの実践事例をあげ、特に熊本地震からの復興に向けた防災教育について詳しくご説明いただきました。非常に参考になる事例で、多大な示唆をいただきました。

（講演資料：別紙フォーラムレジュメ資料集に掲載）

閉会の辞は、北海道・東北地区委員長の佐竹一秀理事よりフォーラム参加者と関係者への謝意が述べられ閉会しました。

このフォーラムを通じて、子どもの自然の中での遊びの重要性、自然の大切さについて再認識いたしました。ビオトープの持つ多様な機能の中で、子どもたちが成長していく過程で必要な様々なものが育てられます。今後も自然との共生をめざした活動を推進し、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

最後に、皆様のご協力に心より厚くお礼申し上げます。今回得られた知識・技術を各地で活かして活動されますことを祈念申し上げます。

2022年6月吉日

一別紙レジュメ資料集の通り、盛会にて終了いたしました一

<後日、編集した映像をオンライン配信する予定。詳細は協会WEBページにUPいたします>

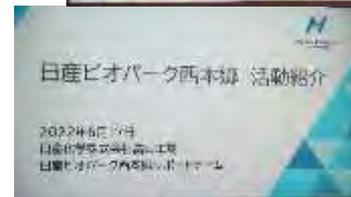
「ビオトープフォーラム in 東京 2022」の様子



会長挨拶



司会



第1部 ビオトープ顕彰 講評・表彰・事例発表

※顕彰詳細、他写真は、別紙第14回顕彰講評・紹介の資料をご覧ください。



第2部 基調講演・特別講演



閉会の辞